

港北区民生委員児童委員協議会広報紙



# ほほえみ

第25号

発行 横浜市港北区民生委員児童委員協議会  
 横浜市港北区大豆戸町26-1  
 電話 045(540)2339  
 FAX 045(540)2368  
 発行責任者 会長 宮田光明

こんにちは民生委員・児童委員です  
 小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の「つなぎ役」

## 子どもの事で

赤ちゃん会や子育てサロンなどに  
 かかわっています。  
 また子育て不安や、いじめ、  
 登校拒否、児童虐待など  
 気軽にご相談ください。



## 障害のある方へ

お困りのこと、援助を必要と  
 することはありませんか。  
 地域の支援を行政と連携して  
 行っています。

## 高齢者の方へ

ひとり暮らしの方、高齢者世帯  
 の方、介護保険サービスを受け  
 たいと考えている方、心配  
 事や相談事、なんでも  
 結構です。気軽に  
 ご相談ください。

## その他

母子福祉や配偶者からの暴力  
 (DV)など、困ったことがあ  
 れば、深刻な状況になる前には  
 連絡ください。

**民生委員・児童委員は  
 守秘義務が課せられています。  
 プライバシーは守ります。**

**民生委員・児童委員は  
 相談に応じ、地域の関係機関等との  
 つなぎ役になります。**

**わたしたちに気軽に声をかけてください。**

## 今年は制度創設100年

民生委員制度は大正6年に岡山県で設置された「済世顧問制度」に始まります。翌大正7年に大阪府で「方面委員制度」が発足し、昭和3年に方面委員制度が全国的に普及しました。横浜市でこの制度が制定されたのは大正9年でした。

戦後（昭和21年）民生委員令の制定により名称が「民生委員」に改められ、地域の福祉増進のための幅広い活動に広がりました。昭和22年の児童福祉法の制定に伴い、

「民生委員・児童委員」として地域の児童福祉活動の中心となりました。

また、平成6年には多様化する児童問題に対応するために、児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」制度が創設されました。民生委員制度は約100年の歴史ある制度で、民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域の皆さまの立場に立った相談・支援者として生活を支えています。

# 民生委員制度創設100周年記念 全国民生委員児童委員大会に参加して

港北区民生委員児童委員協議会会長 宮田 光明

岡山県の「済世顧問制度」を源とする民生委員制度は今年100周年を迎えました。7月9日に天皇皇后両陛下ご臨席のもと、全国民生委員児童委員大会が挙行され、「誰もが笑顔で安全に、安心して暮せる社会」の実現に向けて新たな歴史の一歩を踏み出すにあたり、強い決意をもって行動指針が宣言されました。翌日は6会場に分かれたテーマ別研修となり、地域での実情に即した活動に取り組む大切さが大会全般で謳われていました。



## 地 区 か ら の 紹 介

### 児童養護施設見学

日吉地区 足立 真佐子

初夏を思わせる日差しの中、5月20日、都筑区にある児童養護施設「川和児童ホーム」へ日吉地区民生委員児童委員協議会として研修に行ってきました。

施設長から児童養護施設の現状と課題についてお話をあり、引き続きホーム内を施設長の説明を受けながら見学しました。その後、質疑応答を交えた意見交換を行い、ホームで暮らす子どもたちへの理解を深めました。

この施設は横浜型の児童家庭支援センターの役割も兼ねており、地域の子育て家庭の支援とも深い関係があることも再認識してきました。

私たち民生委員・児童委員も子どもたちの生命の安全を第一に考え、地域の子どもたちが健やかに成長することができる社会の形成に、少しでも力になれるよう努めたいと思います。



### ひだまりサロンみのわ

箕輪地区 石川 富美雄

箕輪地区民生委員・児童委員は「ひだまりサロンみのわ」の名称で、毎月第2木曜日の10時～11時30分、箕輪町公会堂においてだれでも参加できる集会を開いています。

集まつてくるのは1～3歳の幼児を連れた母親が多く、幼児向けの手遊びや母親同士のコミュニケーションが主な内容です。そのほか、親和会(箕輪町の老人会)の会員6～7名によるハンドベル演奏会を年2回、社会福祉法人による出張ミニ講座を1回、12月にはクリスマス会を行っています。ハンドベル演奏会では演奏に合わせて幼児が手拍子し、クリスマス会ではサンタクロースの姿に幼児が喜びにぎやかです。



## ひとり暮らしの高齢者を見守って

下田地区 秋月 義子

民生委員・児童委員を委嘱されて3期目です。ひとり暮らしの高齢者の見守りをということで引き受けました。先輩の親切な指導で困ったこともなく、これで良いのかなと思うながら何とか7年が過ぎました。ひとり暮らしの高齢者が頑張っている姿に感動しています。訪問すると「ここ数日誰ともお話していなかった」と聞き、私と話すことが楽しそうでした。後ろ髪を引かれながらお別れし「また来ますね」と言うと嬉しそうにされました。



ホームに入所したり、亡くなる方があると私は喪失感を受けますが、いろいろためになるお話を聞くことができ感謝の気持ちです。これからも話相手としてお互いにプラスになるよう努力し、見守りたいと思います。

## 民生委員・児童委員の活動

大曾根地区 下醉尾 秀子

民生委員・児童委員の委嘱を受けてから数ヶ月後、地域ケア会議に初めて出席しました。

地域包括支援センター職員やケアマネージャーをはじめとする介護支援専門員、介護サービス事業者、保健医療関係者、行政職員等が一堂に会し、高齢者の見守りについて話し合われ意見交換をしました。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮していくようにと皆で話し合い、支援の体制ができている事に大変感動しました。将来、私が親を介護する側になった時、周りに相談

できる人や支援してくれる人がたくさんいることがわかり、心強く感じました。そして、その支援する一員として私も参加していることを自覚し、福祉についてさらにいろいろ勉強していました。



## 小さなほほえみ

綱島東地区 小泉 三千代

綱島東地区民生委員児童委員協議会では、年間を通して高齢者を対象にお楽しみ会、子どもにはすぐすぐハウス、綱島東ボランティアとの共同事業として、高齢者等への配食などの活動を行っています。また、様々な施設を見学したり、研修を行います。盲導犬訓練センターでは、実際の訓練を見たり職員の方のお話を伺いました。綱島でも盲導犬の訓練を見かけますが、より身近に感じるようになりました。これをきっかけに民生委員・児童委員としても、個人としても何かお役に立てると良いなと思います。「ほほえみ」というタイトルのように、ひとりでも多くの方が微笑んで過ごせるよう民生委員・児童委員として活動していきたいです。



## おはなしにな～に?

菊名地区 江刺 陽三郎

子育て支援活動の一環として主任児童委員が中心となり、就学前のお子さんを対象に毎月、読み聞かせを菊名地区センターで開いています。各委員が紙芝居・絵本・大型絵本を1,2冊担当します。手遊びや季節に合わせた童謡も一緒に歌い、最後は折り紙をします。

5月は「カエルのうた」を輪唱した後にカエルを折りました。出来上がったカエルの口をパクパクと揺って和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。そして「さよならあんころもち」を歌い終しました。この会はお母さんたちの交流の場ともなっています。

私は各委員とともに、お子さんたちの様子を見ながら飽きがこないよう心がけて活動に参加しています。



## 1才2才3才児の会

篠原北地区 山本 善憲

十数年前「親子で楽しく遊んだり、おしゃべりする場所」を、という趣旨でこの会は始まりました。8月と1月を除く毎月1回、様々なテーマを決めて活動しています。「七夕飾りを作りましょう」や「おひなさまを作りましょう」といった伝統的な遊びから、「楽しい親子遊び」や「クリスマス飾り作り」、「歯科衛生士さんのお話とお遊び」、「クリスマス音楽会」など、楽しい企画がいっぱいです。毎回30組前後、60人強が参加しています。リピーターが多く、きょうだいが続けて参加したり、卒業した児童が参加することもあります。大人たちが見守る中、広い部屋で大きな声で歌ったり、思い切り体を動かすことができるので子どもたちも楽しみにしているようです。



## 笑顔で暮らせる高齢者

篠原地区 北原 知子

篠原地区はとても広い地域で、高齢者の方がたくさんいらっしゃいます。上り坂や下り坂がいたる所にあり、若い頃から上ったり下ったりを続けてこられたのでしょう、足腰が強く頬らしい方が多いと感じられます。

しかし、訪問する高齢者の中には「最近この坂がきつい」と悩みをうちあける方もいらっしゃいます。そのようなときは、日常の買い物などを手伝ってくれるところはないかと地域包括支援センターに相談することもあります。歳を重ねても住みよい地域といわれるよう、見守りだけでなく積極的に声かけを行っています。

高齢者に言葉をかけると母にも似た優しいまなざしが返ってきて、私も温かい幸せな気持ちになれるのです。その笑顔にいつも励まされています。

これからも明るい笑顔を忘れず、地域の方々とふれあっていきたいと思います。



## 相撲大会でのふれあい

新羽地区 吉田 恵三

7月2日に新羽地区の第30回「子ども相撲大会」が行われました。この大会には、民生委員・児童委員をはじめ町会役員が関わっています。毎年、老人ホームの方々をお招きして、ひと時を楽しんでもらっています。6月から練習を重ねてきた成果を披露する大切な日です。



朝早くから、豆力士が新羽小学校の土俵場に集まつてきました。開会式を終え、小学3年生から取組が始まりました。大相撲ではない子どもたちのとる相撲の愛らしさに心が癒され、応援する人々の顔にも自然と笑みがこぼれます。勝って喜ぶ子、負けて悔し涙を流す子、悲喜こもごもです。大会が終了すると、どの子も笑顔一杯で帰宅して行きました。

## ランチ交流会に参加して

師岡地区 肥後 貴美子

樽町地域ケアプラザ主催で行われた師岡地区担当のケアマネージャー、民生委員・児童委員合同のランチ交流会に参加しました。民生委員・児童委員に委嘱されて3ヶ月。地域の見守り隊の一員として、高齢者とどう接すればよいか、ケアマネージャーはどんなお仕事をされているのか、ナマの声を聞ける貴重な機会でした。師岡地区は、番地があり組んでおり住所を聞いてもどの辺りかわからない、訪問するのに道がわからない、などの課題が見つかりました。私が担当している地域も坂が多く、まだ地区全体が把握できていません。



私たちは、家庭を訪問し状況を報告することはできても、具体的な解決策は持ち合わせていません。「こんな時どうしたらいいの?」という質問にも丁寧に応えていただきました。ランチには宅配のお弁当を試食しました。区職員・事業所含め、連携した見守りができる体制を活用していきたいと思うと同時に、このような顔の見える交流機会を増やしてさらに活発な連携ができたたらと思います。

## 主任児童委員として

新吉田あすなろ地区 堀井 美妃

その存在も役割も、全く知らなかつた私が主任児童委員になって1年半が過ぎました。まだ解らないことが多くありますが、先輩方に教えていただきながら活動しています。主任児童委員として、赤ちゃん会のお手伝いや子育てサロンの開催を通じ、たくさんのママと赤ちゃんに出会います。私が出産、子育てをしていた時とはいろいろ違いがあり、驚く事も多くあります、

初めての子育てにドキドキしたり不安を感じたり…という気持ちはきっと今のママたちも同じだと思います。そんなママたちが赤ちゃんと楽しく過ごせるようにお手伝いをし、地域には主任児童委員がいるんだということを広く多くの方に知ってもらえるように、活動していきたいと思います。



## 全員研修会について

民生委員制度創設100周年を記念して、今年は東京大学社会科学研究所教授、玄田有史先生をお迎えして「希望学～希望のチカラ～」を講演して頂きました。難しい内容でしたが、始まりからユーモアを交えたお話でした。

希望には①強い気持ち、②実現する事、③具体的な事、④行動する事の4つの柱が必要です。又、絆には強い絆(家族等)と弱い絆(たまに会う人)があります。困難な状況で人々がどのように希望を持って困難を乗り越えていったのだろうか?人々は、意識して考えた事はない。希望に「棚から牡丹餅」はない。与えられる物ではなく、1人1人が動き、作り、支えあう物。しかし、困難な

人ほど希望は必要であり、希望を作る事は手伝える。

私たち民生委員・児童委員は今回の講演を聞いて、弱い絆でありながらも、寄り添い、地域で支え、小さな気づきを大切にする存在でありたいと思いました。



## 新任研修に同行して

5月29日に新任研修として、新吉田地域ケアプラザ、横浜らいいず、花みずきを見学しました。

「横浜らいいず」は新吉田地域ケアプラザとの複合施設です。生活に介助を必要とされる方で居宅での生活が難しい身体障がいの方が生活しています。定員は60名です。居室は個室か2人部屋で約10名単位の小規模ユニットに分かれています。日中はケアプラザに活動場所を作り、昼と夜の生活の場所を分けています。短期入所利用ができ居宅で暮らす障がいの方をサポートしています。

「花みずき」は「横浜らいいず」の隣にあり、知的障がいの方が生活しています。定員は60名です。6つの建物に分かれ、完全個室です。日中の活動は外作業班(缶つぶ

しと園芸)、運搬班、受注作業班(割りばしの袋づめ)、機織り班、軽作業班、清掃美化班に分かれて個人の能力や希望によって班分けをしています。

両施設は、障がいがあってもできるだけ家庭で生活している様に過ごす事を大切に考えていました。



# ほほえみ編集委員が 取材に行ってきました!

## 大曾根地区

## ささえあいネットワークの会

大曾根地区「ささえあいネットワークの会」は、高齢化が進み始めた初期の1992年に安心して暮らしていくための地域での連携をすすめようと設立され、25年以上の歴史と実績を有した活動です。

年2回開催され、今年度の第1回は6月15日に大曾根会館にて開催されました。地区社会福祉協議会役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員が9時半には集まり、会場の準備をしていました。開始時刻の前には会場にたくさんの会員の方々が集まり、予備の椅子を出すほど盛況で、総勢73名となりました。

会の前半では、樽町地域ケアプラザの協力を得て「シナプロジー」というトレーニングを行いました。これは、普段し慣れない動きで脳に適度な刺激を与え、脳の活性化を図るトレーニングです。ジャンケンをしたり、グーパーや数の指折りをして指を動かし、笑い声が飛

び出し、うつすらと汗をかき楽しい時間を過ごしました。

会の後半は、民生委員・児童委員の担当地区別に別れての情報交換です。この会では、出席した会員の方々と民生委員・児童委員とが生活状況の変化などの情報を交換していました。この会は、民生委員・児童委員が活動するうえで、サポーター的な存在になっていると思われます。会員の方々は、担当地区の情報交換が終わると三々五々帰って行きました。



## 菊名地区

## 菊名ぴょんぴょん いちょう広場であそぼう!

今年初の台風が日本列島を縦断した翌日、菊名のいちょう広場で毎月第1水曜日に開催されている公園あそびを取材しました。

この催しは菊名地区民生委員児童委員協議会の主催で、子育て指導員だったボランティアの方の協力を得て、未就学児童の親子を対象に「屋外で体を動かす楽しさ」を伝える場を提供しています。この日は七夕かざりと牛乳パックを利用した竹とんぼを作り、親子で飛ばして楽しみました。8月と9月にはミニプールで水遊びをします。その時には中学生や高校生がボランティアとして参加するので、歳の近いお兄さん・お姉さんと

遊べて子どもたちも嬉しそうです。

参加したママたちにアンケートをお願いした結果は以下のとおりです。

(問)この催しは何で知りましたか?

- ①いちょう広場入口のポスターを見て。
- ②「おはなしーに」に参加して知った。
- ③ココマップメールで知った。

(問)参加して良かったことは何ですか?

- ①子どもが同じ年代の子と遊べて楽しそうだ。
- ②子どもが遊びの中で体を動かせる。
- ③季節に合わせた楽しみがある。
- ④新しい遊びを教えてくれる。

その他、少数ですがこんな意見もありました。

- ママ同士で話ができる。
- 民生委員・児童委員に相談ができる。

この日は天候の影響もあって10組の親子の参加でしたが、通常は20組ほどの参加があるそうです。核家族が多いなか、民生委員・児童委員として、子育て支援の役割の重要性を再認識した取材でした。



## 篠原南地区

## バスタオルで作る防災頭巾

7月25日、篠原南地区民生委員・児童委員の人たちが篠原地域ケアプラザに集まって、バスタオルを利用した防災頭巾を作るということで取材に行きました。

講師は、篠原西町の杉浦さんです。暑い中みんなさんは、事前に用意していただいたタオル類が入った袋に、自分で必要と思われる物を加えて持ってきました。はじめに杉浦さんが作った防災頭巾の中はどうなっているのかを見せていただきました。この防災頭巾は、洋裁で使うしつけ糸で縫つてあるため、簡単に手で糸を解き中身を抜げられることに驚きました。中には、袋やハンカチに包まれた下着、軍手、保険証のコピー、お金、歯磨きセット、簡易トイレやホカラソンなど生活必需品が縫いつけてありました。これらの厚みで、避難時に落下物から身を守ることはもちろん、暖かく寒さをしのぐこともできるという優れ



ものです。JA新ふくしま女性部の方々が、震災後意見を出し合って作りだしたものだそうです。杉浦さんの説明が終わると、民生委員・児童委員のみなさんは、各自テーブルの上にバスタオルを広げて、黙々と自分で持ってきた物を配置し縫いつけ、前で結ぶひもをつけて2時間弱で全員仕上げることができました。下着や簡易トイレを包んだハンカチや手ぬぐいは、切り裂けば包帯になり、前で結ぶひもも洗濯物を干すロープの代わりにも使うことができるそうです。また、ひとり小さい子ども用の防災頭巾もあるということです。

自然災害が多発している中、今回作った防災頭巾は、家にある物でできるので、各自治会に持ち帰って広めていきたいという声が上がりました。



## 高田地区

## 子どもたちの集いの場とおにぎり



る子どもたちの勉強会に、軽食を提供するという活動を続けている高田地区民生委員・児童委員、主任児童委員や有志の方々の取り組みを取材すべく、高田地域ケアプラザを訪問しました。

お話を伺うと勉強会は定期的に夕方6時から開催されており、軽食の提供は月1回のペースとのことでした。有志の方々は4時には調理室に食材、調味料、お米などを分担して持ち込み、軽食の準備に取り掛かっていました。この日は5名の現職の委員の方々に加え2名のOBの方も協力していました。皆さん主婦の方々なので手際もよく、ご飯を炊く方、食材を切り分ける方、食器を用意する方など手分けして約1時間であつ

蒸し暑さが梅雨の最中であることを思い出させてくれるような6月22日の夕刻、区の事業として行われている

という間におにぎり・味噌汁などが盛りつけられ、いつでも食べて下さいという見事なできあがりでした。

準備された軽食は勉強の合間に子どもたちや教えて下さる先生方が皆さんで楽しまれとのことでした。準備して下さった有志の方々は、作り終えたところで子どもたちに余計な気を使わせないようにと、顔も合わせず引き上げて行きました。

活動している方に「何かご苦労がありますか?」とお聞きしたところ、「全く苦労はありません。楽しくお手伝いさせていただいております。」とのことでした。このような活動が他の地域にも大きく広がつていけば素晴らしいと感じた訪問でした。



# 主任児童委員より

## 川和児童ホームの見学

飯塚 隆子

主任児童委員連絡会では、毎年さまざまな研修を行っており、平成29年1月に児童養護施設「川和児童ホーム」を訪問しました。この施設は横浜型児童家庭支援センターの役割も持つており、子育て家庭からのさまざまな相談に対し、専門的な支援・援助を行っています。住宅棟を備え、訪問時は30名ほどの子どもたちが家庭から離れこの施設で生活していました。

このような施設を見学し、職員の方々のお話を聞くことは主任児童委員としての心得や日々の活動に大変役立っています。しかし、施設を退所した子どもには、

この先厳しい道のりも多いとの説明を受け、児童家庭支援についてあらためて考える機会にもなりました。

### 主任児童委員とは?

子どもや子育てなど児童に関することを専門に担当する民生委員・児童委員です。行政機関と協力し連絡を取り合うパイプ役です。

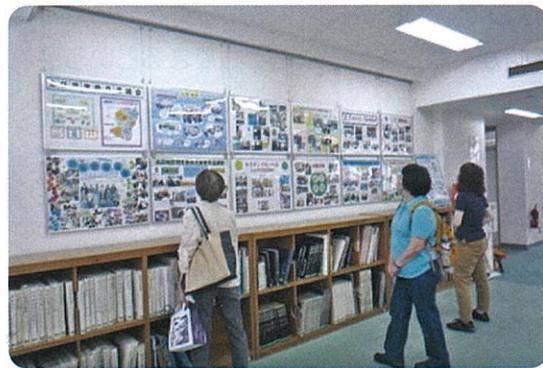
学校・家庭・地域などと連携し、相談・支援を行っています。

## 港北区民生委員児童委員協議会パネル展

民生委員・児童委員の地域での活動を紹介するパネル展を今年も開催しました。各地区の活動の様子が写真やイラストで多彩に分りやすく紹介されました。



・港北区役所2階  
平成29年4月24日(月)～5月18日(木)



・港北図書館2階  
平成29年6月10日(土)～7月27日(木)

### 担当の民生委員・児童委員、主任児童委員に相談するには…

港北区役所福祉保健課運営企画係で地域の民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介しています。  
※ご相談内容によっては、他の専門機関を紹介します。

港北区役所福祉保健課運営企画係 電話 540-2339 FAX 540-2368

### 編集後記

発行日が早春から晩秋へと変更になり、あわせて表紙の編集も検討しました。区のキャラクター「港北区ミズキー」のように、四季に関わりなく、だれからも愛され親しみのある「ほほえみ」でありたいと願いを込めました。(M.H)

編集委員(○委員長、△顧問)

○蛭野 美津子(日吉)・△永野 和子(大豆戸)  
井上 弘子(日吉宮前)・磯貝 淑子(菊名)  
椎山 妙子(師岡)・熊倉 康子(篠原南)  
矢野 泰秀(高田)・米山 健二(新羽)  
神丸 悅子(主任児童委員、日吉本町)